

令和2年度 第1回花き技術向上研修を開催しました

「スプレーギク・小ぎく・一輪ぎく（7月咲き）の新品種の特性・栽培技術について」

- 1 開催日時
令和2年7月14日（火曜日）10時～15時
- 2 内容
出席者数：花き生産者など84名
 - (1) 実証展示品種の生育開花状態の展示
栽培圃場の概要（花きセンター職員）
場所：切花3号温室、露地圃場
 - (2) 種苗会社の展示コーナー
品種の特徴説明（種苗会社3社）
場所：切花4号温室

新型コロナウイルス感染症対策として3密を避けるため、栽培実証圃場と種苗会社の展示コーナーの見学のみとし、時間を区切っての事前申込制で実施しました。

切花3号温室のスプレーギクは、研修会当日9割以上の品種が開花しました。例年、国産挿し穂の品種については幼若性が抜けにくく開花が遅れるため、今年度はジベレリンを処理し開花促進を図りましたが、数品種が開花にいたりませんでした。

露地栽培実証圃場の小ぎく、芽なしぎく、スプレーギクはほとんど未開花でしたが、研修開催時期を例年より遅らせたため、季咲で開花直前や開花始めの品種もあり、品種間差が見られました。また、例年よりエテホン処理、電照の違いがわかりやすいという感想もありました。



実証展示圃場（グループごとに時間を区切って見学）、種苗会社展示コーナー